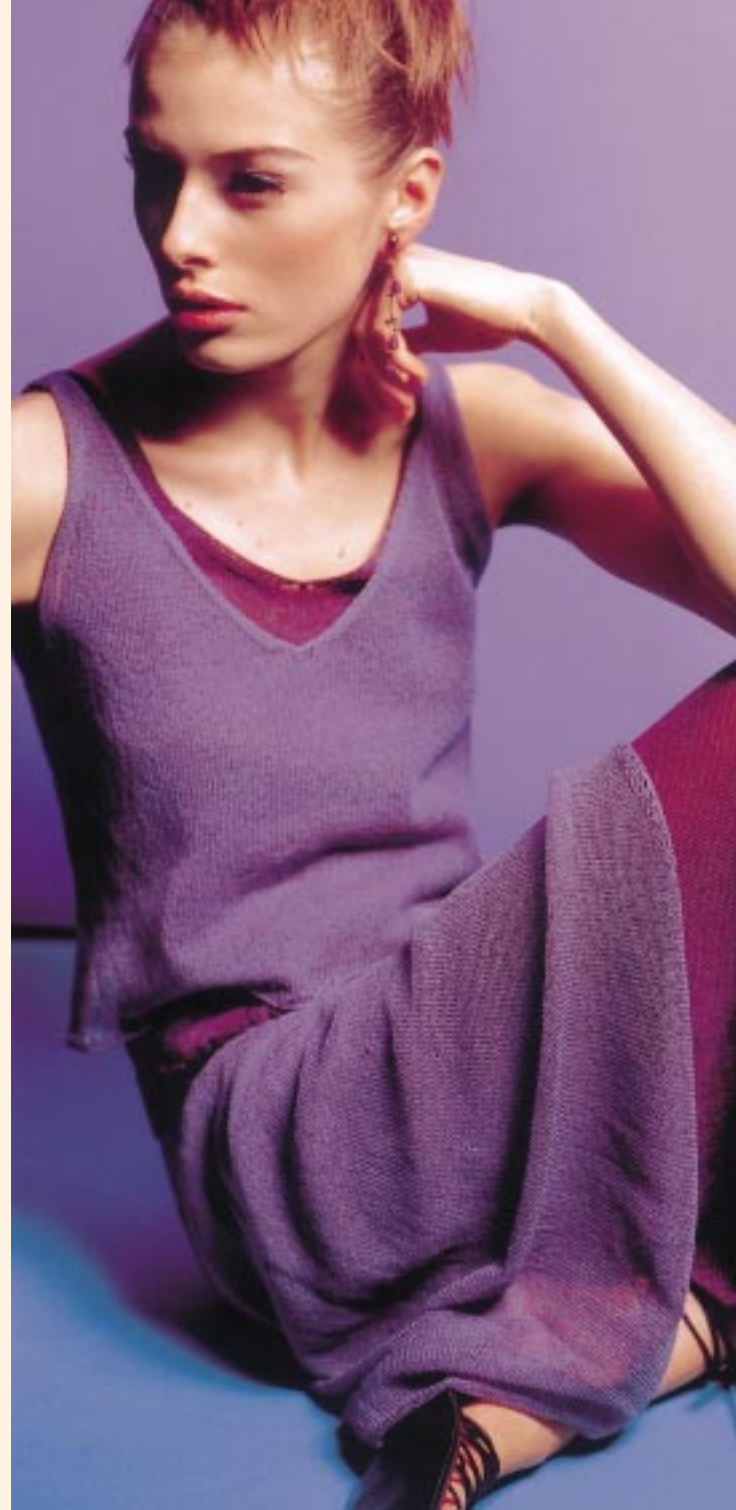


第 4 3 期 事 業 報 告 書

平成15年4月1日 ~ 平成16年3月31日



株式会社島精機製作所

Ever Onward—



CONTENTS

- p.2 … 企業理念
- p.3-4 … 社長メッセージ
- p.5 … 決算ハイライト
- p.6 … 営業報告
- p.7-8 … トピックス
- p.9-11 … 財務データ
- p.12 … 展示会報告
- p.13 … 株式の状況
株主優待のお知らせ
- p.14 … 会社概要

限りなき前進

全自動手袋編機の開発を原点とする当社は、創業当初から『世界初』の製品づくりという目標を掲げるとともに、『Ever Onward 限りなき前進』を経営理念とし、創意と工夫により最高機能の製品を経済的な価格でお届けすることを基本に、常に顧客の立場に立ち、ニーズを先取りした製品開発を行ってまいりました。

以来、株主の皆さまをはじめとした多くのステークホルダーの方々のご支援、ご愛顧により、手袋編機からコンピュータ横編機、デザインシステムにいたるトップメーカーとして、高い評価をいただくまでになりました。

そのようななか当社では、「衣」の分野において、今までにない魅力ある商品づくりや新しいビジネスモデルを業界に提案し、従来の労働集約型産業から知識集約型産業への転換を促すべく、独自の技術開発に全力をあげており、ハードウェア、ソフトウェアに加え、ノウハウ、デザインまでも包含した総合的なサービスと情報を提供してまいりました。こうした活動を通じ、当社ではファッション産業を始めとするユーザー業界の活性化に貢献し、新しい「衣の文化」を形成することを目指しています。

総合メカトロニクス企業として、今後も創業の原点に立ちかえり、新たな『創造』にチャレンジし続ける当社に、より一層のご支援、ご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

Message from the President

株主の皆さまへ

第43期の成果と今後のビジョン

当期の業績について

当連結会計年度における世界経済は、概ね堅調な推移となり、わが国経済も企業収益の好転により、景気は改善局面にあります。

このような状況を背景に、当社グループは世界のアパレル・ファッション業界の中にあって、消費地でのホールガーメント[®](無縫製ニット)横編機の浸透・拡販、ならびに大規模市場における横編機の従来機種へのシェアアップに経営資源を集中してまいりました。

海外市場では、海外売上の過半を占める東南アジアで、香港、中国が輸出・内需とも好調で設備投資意欲が活発となり、また近年、主要市場となった中東では、トルコが上期を中心にコンピュータ横編機の従来機種への需要が旺盛で、いずれも前期に比べ順調に売上を伸ばしました。欧州市場での減少はあったものの、海外売上高は前期比33%の増加となりました。

国内市場でも、輸入ニット製品との競合によりユーザー業界の環境は依然として厳しいものの、付加価値の高いホールガーメント製品の評価が高まり、国内生産への投資が着実に進んだ結果、国内売上高は前期比30.2%の増加となり、回復基調を鮮明にしました。

その結果、当連結会計年度の売上高は464億20百万円(前期比7.2%増)となりました。

【第43期の業績】

	連結	単体
売上高	46,420 百万円	45,989 百万円
営業利益	10,972 百万円	10,085 百万円
経常利益	10,316 百万円	9,719 百万円
当期純利益	5,623 百万円	5,518 百万円

(: 過去最高額)



代表取締役社長 島 正博

利益面につきましては、売上高の増加に加え、増産に伴う稼働率の向上やコストダウンが進んだことにより、営業利益は109億72百万円(前期比24.0%増)となりました。経常利益は、為替相場が円高ドル安傾向で推移しましたが、為替予約などのリスクヘッジに努め、103億16百万円(前期比8.6%増)となりました。当期純利益は、特別損失として過年度役員退職慰労引当金を繰り入れましたが、56億23百万円(前期比15.3%増)となりました。

これにより、当連結会計年度における営業利益、経常利益、当期純利益はいずれも過去最高を記録しました。

次期の見通しについて

今後の経済情勢については、概して回復、成長過程にあるものの、不透明要素も懸念される状況となっております。

このような経営環境のなか、次期におきましては、海外市場では、大規模生産拠点としての香港、中国やトルコの位置付けが重要性を増しており、今後も堅調な推移

を予想します。また消費地型生産に適した欧州市場は、昨年10月の国際ニット機械見本市（I K M E 展）での成果を積極的に活用し、ホールガーメント横編機の本格展開に傾注することで、緩やかな回復基調に移行するものと考えております。不透明要素としては中国における金融引締めの影響や、トルコでの投資意欲の動向などが考えられます。

国内市場では、アパレルやニットメーカーと商社の繊維ビジネス部門が協業体制を築き、ホールガーメントを基幹アイテムとし国内の生産能力の活用を進めることで、新たなビジネスモデルを展開しています。このような業界動向を背景にホールガーメント横編機のさらなる売上増を進めてまいります。

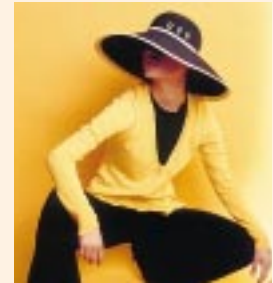
さらに新開発のホールガーメント横編機「SWG021」を幅広い業界で拡販するとともに、世界初の超ファインゲージ手袋編機「New SFG18ゲージ」も多用途への展開を進めてまいります。

また海外売上比率に対応した、為替リスク管理体制にもとづくリスクヘッジを継続し、グループ全般にわたる一層の合理化、効率化や生産性の向上による製造コストの低減を図ることで、業績の向上、安定的な利益の確保に全力を傾注いたします。

次期の業績見通しにつきましては、売上高485億円、営業利益115億円、経常利益112億円、当期純利益65億円

を計画しております。

なお、業績見通しの前提となる為替レートは、米ドルは105円、ユーロは128円を想定しております。



株主価値の向上に向けて

株主価値の向上と安定した経営を維持し、収益に対応した株主さまへの利益還元を積極的に行うためにも、1株当たり当期純利益（EPS）を150円以上とすることを当面の目標としてまいりました。積極的かつ効果的な販売戦略の展開やグループ全体でのコスト削減、為替対策などの結果、当期における連結EPSは150.64円と目標を達成することができ、通期での配当金も1株につき37円50銭と2円50銭増配させていただきました。

今後も、株主の皆さまへの積極的な利益還元を継続して行うため、経営指標として連結EPSを引き続き採用し、当面の目標値を200円以上と、従来目標より一段高い水準に設定した上で、効果的な事業展開に尽力してまいりますので、引き続き当社の事業活動に対しご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



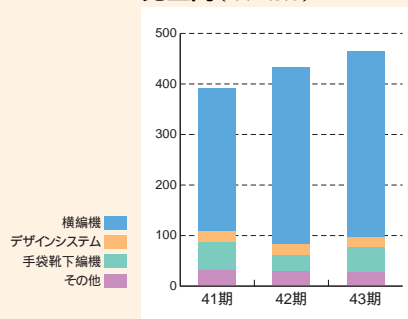
Financial Highlights

決算ハイライト

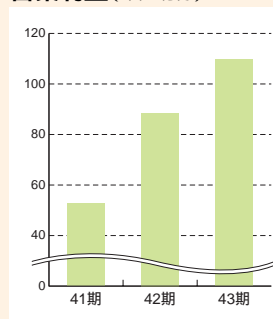
	連 結		単 体	
	当 期 (平成16年3月期)	前 期 (平成15年3月期)	当 期 (平成16年3月期)	前 期 (平成15年3月期)
売 上 高 (百万円)	46,420	43,288	45,989	41,578
営 業 利 益 (百万円)	10,972	8,847	10,085	7,546
経 常 利 益 (百万円)	10,316	9,496	9,719	8,420
当 期 純 利 益 (百万円)	5,623	4,878	5,518	4,497
1 株 当 たり 当 期 純 利 益 (円)	150.64	129.61	147.89	119.44
総 資 産 (百万円)	102,852	96,220	99,679	91,658
株 主 資 本 (百万円)	87,903	84,419	83,289	79,760

業績の推移 (連結)

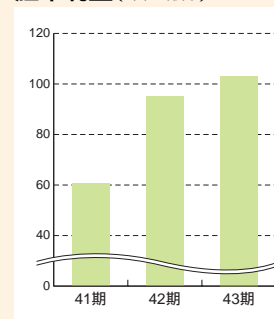
売上高 (単位: 億円)



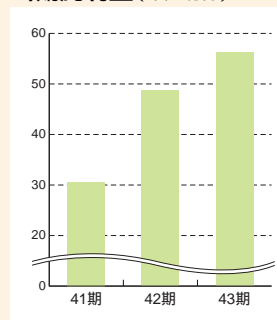
営業利益 (単位: 億円)



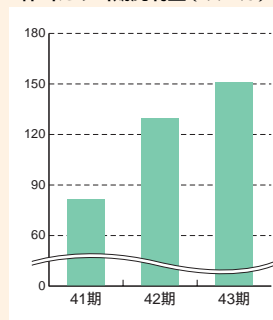
経常利益 (単位: 億円)



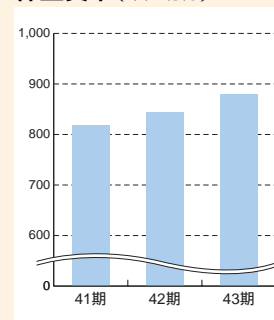
当期純利益 (単位: 億円)



1株当たり当期純利益 (単位: 円)



株主資本 (単位: 億円)



営業活動のご報告（連結）

横編機部門

当社のコア・ビジネスである横編機事業では、企画提案型企業として、ホールガーメント[®]特有の消費者に対するメリットを活かし、今までにない新しい魅力のあるサンプルの蓄積による、独自のノウハウ、デザインさらにはデータまでをトータルサポートすることで、市場への浸透を推進してまいりました。その結果、国内外の大手アパレル、商社を中心に主力ブランドへの拡大が進むとともに、縫製業界等の異業種への新たな展開も見られるようになりました。

海外市場におきましては、アジア市場では、香港で設備投資が活発なことに加え、中国も前期に引き続き売上を伸ばしました。中東のトルコでは、欧州、ロシアへのニット製品の輸出に加え内需も堅調ななか、従来機種を中心に売上は高水準で推移しました。欧州市場では、減速傾向となりましたが、I K M E展でホールガーメントが来場者の注目を集めたことで、イタリアを中心に下期にかけて回復基調となりました。この

結果、海外売上高は前期に比べ増加しました。

国内市場では、圧倒的な輸入ニット製品の市場流通量に対し国内生産への回帰を進め、業界の活性化を図ることにより、各産地においてもホールガーメントを採用した独自のモノづくりが浸透してきたことで、最終消費者への認知度も高まった結果、ホールガーメント横編機の販売台数が前期比倍増し、国内売上高は前期に比べ大きく増加しました。

横編機事業全体としては、過去最高の販売台数を記録した前期をさらに上回り、売上高は367億80百万円（前期比5.5%増）となりました。



SWG - X
ホールガーメント
コンピュータ横編機

デザインシステム部門

デザインシステム関連事業では、ニット・アパレル業界のコミュニケーションツールとして、ALL in ONEの開発コンセプトを持つ「SDS - ONE」の販売に注力し、デザイン企画から商品提案、生産面における高速化、省力化を実現する高機能性と操作性の良さが高く評価され、国内市場ではほぼ前期並みの水準となりましたが、海外市場で減少した結果、売上高は19億49百万円（前期比17.4%減）となりました。



SDS - ONE
デザインシステム

手袋靴下編機部門

手袋靴下編機事業では、韓国、中国などのアジア市場で欧米向け需要が順調な推移となり、中東のトルコでも五本指靴下編機の設備投資が増加したことにより、海外市場の売上が大幅な増加となり、国内市場でもコーティング手袋需要の増加などにより売上が伸び、売上高は50億27百万円（前期比60.4%増）となりました。



NewSFG
シームレス手袋編機

トピックス

新局面にあるホールガーメント[®] その市場展開について

昨今、無縫製ニットの「ホールガーメント」は、大手アパレルが相次いでその主要ブランドに採用を本格化するなど、新しい局面を迎えています。

当社による段階的かつ継続的な施策の展開により、優れたコストパフォーマンスはもちろんのこと、従来にはない「新しい魅力をもったニット製品」としての高付加価値性や市場性など、ホールガーメントだけが持つ高いポテンシャルが認知され、その成果がホールガーメント横編機の販売台数の増加として現れてきました。

市場へのアプローチの推進

ホールガーメントは、縫製工程を経ることなく編機でそのまま一着が立体的に編みだてられたニット製品であり、従来とは異なる全く新しいモノづくりの形といえます。従来の延長線上のモノづくりにこだわっているはその特性、良さを十分に引き出すことはできません。新しいモノづくりであるからこそ、その普及に向け、素材から始まり、企画、デザイン、生産、流通、販売等、ハードだけにとらわれないファッションビジネスの各工程にわたる新しい取り組みを進めています。



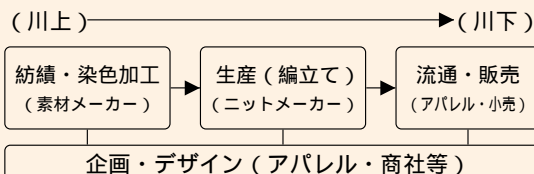
・素材（糸）の共同展開

従来にはないシルエットの実現などホールガーメントの魅力を引き出すため、素材メーカーとの協業（コラボレーション）で、形態安定性に優れたPTT繊維素材「ソロテックス[®]」など、ホールガーメントに最適な糸の共同展開を行っています。本格的な素材段階からの協業の取り組みは過去に例はなく、それぞれが強みを持ち寄り、効果を高める戦略を展開することで、ホールガーメントの普及につなげています。

・アパレル、商社等とのコラボレーション

ホールガーメントが、今までにはない新しいデザインやシルエット、スタイルをニットで表現できる「魅力のある製品」としての認識が深まり、大手アパレル、商社等が中心となり、ホールガーメントを核とした新しいビジネスモデルの構築が進んでいます。アパレルやニットメーカー、商社等が、それぞれが強みとする分野でのプロジェクトへの参画を通じ、協業体制を構築するなか、当社は技術支援やサポートを担当し、ホールガーメントの普及に努めています。

<ニットビジネスの業務フロー>



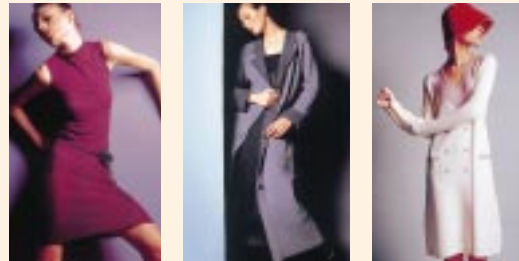
トータルデザインセンターの機能

また、当社は機械メーカーですが、トータルデザインセンターという部門では週60点以上ものホールガーメントのサンプルを企画・製作し、常に新しい情報を発信し続けています。ここは、ハードを熟知するが故の利点を活かし、アパレルを含む顧客サポートの推進をはかるため、デザイン、ニット技術等のノウハウの集積場として機能し、先に触れた素材メーカーやアパレル等とのコラボレーションの窓口、調整役としての機能を担っています。



認知度が高まったホールガーメント

こういったホールガーメントに代表される世界でオンリー・ワンの技術を武器に、機械メーカーである当社が、ファッションショーの開催やニットサンプルの製作など、まるでアパレルのような活動を行い、ファッション産業の活性化に貢献する姿勢が民放テレビ局等で取り上げられる機会も増え、ホールガーメントは業界だけでなく消費者の間でも認知度が高まりつつあります。また、アパレル、商社等の取扱量の増加に伴い、百貨店や専門店などの店頭での注目も集めるようになってきました。



ホールガーメントのさらなる普及に向けて

このように、積極的な市場へのアプローチが好循環となり、ホールガーメントの認知度の向上を通じ、ホールガーメント横編機の市場展開にも弾みがついてきました。今期のホールガーメント横編機の販売台数は過去最高を記録し、今まさに普及期に入ったと言えます。

しかし、大手アパレル等の取扱量が増えてきているとはいえ、ホールガーメントは現在国内ですらニット流通量の1%にも満たず、消費者への浸透の途上とも言えます。ただ、今後生産者だけでなく、消費者にとってもメリットのある製品としての認識が更に深まれば、市場はますます大きく開ける可能性を持っています。

これからも最終消費者をも含めたファッションビジネスのあらゆる工程において、ホールガーメントのもつ特性や可能性を積極的にアピールし、市場への浸透、普及に努めてまいります。



Financial Data

財務データ（連結）

連結貸借対照表

（単位：百万円）

科 目	当 期	前 期
	平成16年3月31日現在	平成15年3月31日現在
流 動 資 産	70,953	63,939
現金及び預金	8,192	10,173
受取手形及び売掛金	51,562	42,705
たな卸資産	10,323	10,411
その他	2,519	1,823
貸倒引当金	1,644	1,174
固 定 資 産	31,898	32,280
有形固定資産	18,470	18,767
建物及び構築物	6,067	6,414
土地	10,388	10,264
その他	2,014	2,088
無形固定資産	125	132
投資その他の資産	13,302	13,380
投資有価証券	4,752	4,446
再評価に係る繰延税金資産	4,518	4,530
その他	4,929	5,463
貸倒引当金	898	1,060
資 産 合 計	102,852	96,220
流 動 負 債	12,376	10,080
支払手形及び買掛金	4,763	4,521
未払法人税等	2,955	2,411
賞与引当金	710	671
その他	3,947	2,475
固 定 負 債	2,420	1,542
退職給付引当金	1,497	1,542
役員退職慰労引当金	921	
その他	1	
負 債 合 計	14,797	11,622
少 数 株 主 持 分	152	178
資 本	14,859	14,859
資本剰余金	21,724	21,724
利益剰余金	60,408	56,241
土地再評価差額金	6,657	6,675
その他の有価証券評価差額金	240	164
為替換算調整勘定	235	85
自己株	2,436	1,481
資 本 合 計	87,903	84,419
負債、少数株主持分及び資本合計	102,852	96,220

連結損益計算書

（単位：百万円）

科 目	当 期	前 期
	平成15年4月1日から平成16年3月31日まで	平成14年4月1日から平成15年3月31日まで
売 上 高	46,420	43,288
売 上 原 価	24,073	23,200
売 上 総 利 益	22,346	20,088
販売費及び一般管理費	11,374	11,241
営 業 利 益	10,972	8,847
営業外収益	364	741
受取利息	197	206
その他	166	534
営業外費用	1,020	91
支払利息	4	37
為替差損	891	
その他	124	54
経 常 利 益	10,316	9,496
特別利益	67	
特別損失	864	695
税金等調整前当期純利益	9,520	8,800
法人税、住民税及び事業税	4,809	3,655
法人税等調整額	902	289
少数株主損失	10	22
当 期 純 利 益	5,623	4,878

連結剰余金計算書

（単位：百万円）

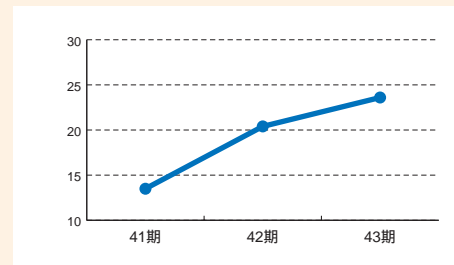
科 目	当 期	前 期
	平成15年4月1日から平成16年3月31日まで	平成14年4月1日から平成15年3月31日まで
資本剰余金の部		
資本剰余金期首残高	21,724	21,724
資本剰余金期末残高	21,724	21,724
利益剰余金の部		
利益剰余金期首残高	56,241	52,513
利益剰余金増加高	5,623	4,878
当期純利益	5,623	4,878
利益剰余金減少高	1,456	1,150
配当	1,387	1,119
役員賞与	52	31
土地再評価差額金取崩額	17	
利益剰余金期末残高	60,408	56,241

連結キャッシュ・フロー計算書

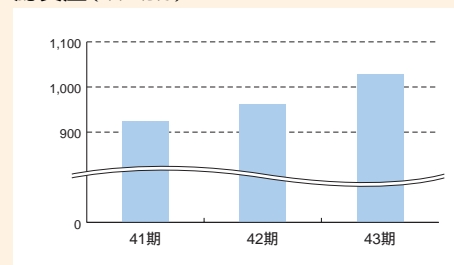
(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで	平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	9,520	8,800
減 価 償 却 費	1,021	1,031
受取利息及び受取配当金	252	240
売上債権の増加額	8,910	4,077
たな卸資産の減少額(増加額)	116	191
仕入債務の増加額	405	204
そ の 他	910	744
小 計	2,811	6,271
利息及び配当金の受取額	250	244
利息の支払額	9	37
法人税等の支払額	4,261	2,800
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,208	3,677
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純減少額(純増加額)	715	309
有価証券の純減少額(純増加額)	0	39
有形固定資産の取得による支出	1,037	767
有形固定資産の売却による収入	102	6
投資有価証券の取得による支出	200	1,570
投資有価証券の売却による収入	591	22
そ の 他	442	119
投資活動によるキャッシュ・フロー	816	1,919
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増加額(純減少額)	1,700	10
自己株式の取得による支出	955	848
配 当 金 の 支 払 額	1,387	1,118
そ の 他	3	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	639	1,977
現金及び現金同等物に係る換算差額	33	59
現金及び現金同等物の減少額	2,697	279
現金及び現金同等物の期首残高	9,966	10,246
現金及び現金同等物の期末残高	7,269	9,966

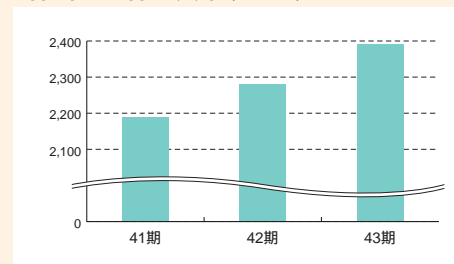
売上高営業利益率(単位:%)



総資産(単位:億円)



1株当たり株主資本(単位:円)



財務データ（単体）

貸借対照表

（単位：百万円）

科 目	当 期	前 期
	平成16年3月31日現在	平成15年3月31日現在
流 動 資 産	67,353	58,868
現金及び預金	5,478	6,311
受取手形及び売掛金	52,260	42,668
たな卸資産	9,128	9,478
その他の他	2,114	1,479
貸倒引当金	1,628	1,070
固 定 資 産	32,325	32,790
有形固定資産	16,936	17,268
建物及び構築物	5,598	5,899
土地	10,055	10,025
その他の他	1,282	1,343
無形固定資産	112	122
投資その他の資産	15,276	15,399
投資有価証券	4,438	4,231
関係会社株式	2,471	2,471
再評価に係る繰延税金資産	4,518	4,530
その他の他	4,670	5,225
貸倒引当金	822	1,059
資 産 合 計	99,679	91,658
流 動 負 債	14,162	10,550
支払手形及び買掛金	6,682	5,718
未払法人税等	2,792	2,002
賞与引当金	603	571
その他の他	4,085	2,257
固 定 負 債	2,226	1,347
退職給付引当金	1,305	1,347
役員退職慰労引当金	921	
負 債 合 計	16,389	11,897
資 本 金	14,859	14,859
資 本 剰 余 金	21,724	21,724
資本準備金	21,724	21,724
利 益 剰 余 金	55,562	51,497
利益準備金	2,124	2,124
任意積立金	46,352	43,358
当期末処分利益	7,084	6,014
土地再評価差額金	6,657	6,675
その他有価証券評価差額金	237	164
自己株式	2,436	1,481
資 本 合 計	83,289	79,760
負 債 及 び 資 本 合 計	99,679	91,658

損益計算書

（単位：百万円）

科 目	当 期	前 期
	平成15年4月1日から平成16年3月31日まで	平成14年4月1日から平成15年3月31日まで
売 上 高	45,989	41,578
売 上 原 価	25,463	23,856
売 上 総 利 益	20,526	17,722
販売費及び一般管理費	10,441	10,176
営 業 利 益	10,085	7,546
営業外収益	763	1,022
受取利息	137	156
その他の他	625	866
営業外費用	1,129	148
支払利息	4	36
為替差損	947	
その他の他	177	111
経 常 利 益	9,719	8,420
特別利益	67	
特別損失	829	682
税 引 前 当 期 純 利 益	8,958	7,737
法人税、住民税及び事業税	4,401	3,112
法人税等調整額	961	128
当 期 純 利 益	5,518	4,497
前期繰越利益	2,230	2,076
土地再評価差額金取崩額	17	
中間配当額	647	559
当 期 未 処 分 利 益	7,084	6,014

利益処分

（単位：円）

科 目	金 額
当期末処分利益	7,084,856,960
特別償却準備金取崩額	6,038,927
退職給与積立金取崩額	760,000,000
計	7,850,895,887
これを次のとおり処分いたしました。	
利益配当金 (1株につき20円)	734,603,600
役員賞与金 (うち監査役賞与金)	55,000,000 (2,400,000)
特別償却準備金	18,975,079
別途積立金	4,000,000,000
次 期 繰 越 利 益	3,042,317,208

(注) 1. 平成15年12月3日に647,283,525円(1株につき17円50銭)の中間配当を実施しました。

2. 特別償却準備金の積立及び取崩は、租税特別措置法の規定に基づくものであります。

I K M E 展への出展

～世界市場への更なるアピール～

昨年10月に、イタリア・ミラノにおいてI K M E 展（国際ニット機械見本市）が開かれました。

当社からは、展示会場の一割を超える過去最大の面積1,088㎡の展示ブースを確保し、コンピュータ横編機をはじめ、当社が誇るハード・ソフト・ノウハウの総合的な提案を行いました。

世界のニット業界を取巻く環境は、人件費が相対的に安い国・地域への生産地の移転や、競争の激化に伴うニット製品価格の低迷が広がり、厳しいものとなっております。また、欧米先進国においてニット製品の輸入増加による設備投資の減退が顕著になっております。中でも消費地を抱える先進国のニット業界では、他の生産地と差別化のできる製品づくりがテーマとしてクローズアップされはじめ、その解決策としてホールガーメント[®]への関心が高まっています。

I K M E 展にはヨーロッパを中心として、中東・アジア等、世界60カ国から多数の来場者があり、当社は各国のニット業界の活性化を目指し、バリエーションが更に拡大したホールガーメント横編機を中心に、その機能だけでなく、どのようなニットウェアができるのか、製品



サンプルと共にモノづくりのトータルなシステムの提案を行いました。

この他にも、New SESシリーズのラインアップやスペックアップされたSDS - ONE、さらには革新的な新製品として初公開された編み幅10インチのホールガーメント横編機「SWG021」など、多彩な製品ラインアップでI K M E 展に臨みました。

このような積極的な提案の結果、イタリアだけでなく欧州における「ホールガーメント」の認知度をさらに高めることができました。

新製品 ホールガーメント横編機「SWG021」

これまで当社が培ってきた「ホールガーメント」編機の技術を応用し、手袋や靴下はもちろん服飾アクセサリ全般の広範囲な商品カテゴリーに対応した立体編成が可能な新製品「SWG021」（コンパクトタイプのホールガーメント機）を開発し、新たな市場展開を目指してまいります。



Stock Information

株式の状況(平成16年3月31日現在)

大株主

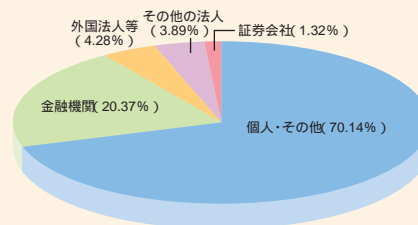
株主名	持株数	議決権比率
島 正 博	5,185千株	14.15%
後 藤 明 史	2,640	7.20
島 三 博	1,980	5.40
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	1,572	4.29
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	1,189	3.24
和島興産株式会社	1,130	3.08
シマセイキ社員持株会	1,018	2.78
島 節 子	976	2.66
株式会社紀陽銀行	838	2.29
島 和 代	750	2.05

(注) 当社は、自己株式869千株を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。

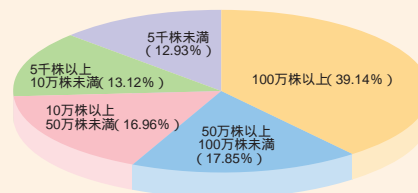
株式の状況

会社が発行する株式の総数 ...142,000,000株
 発行済株式の総数37,600,000株
 当期末株主数14,969名

所有者別分布



所有数別分布



株主優待のお知らせ

当社では毎年3月末日と9月末日を基準日として、単元株主様に株主優待を実施しております。

今3月期の株主優待につきましては、ファッションの先進地として当社とかわりの深いイタリアより、特別に企画、選定いたしました品物をお届けいたします。

なお、持株数により優待品の内容は異なり、100株以上の株主様にはオリーブオイル等の調味料のセット、1,000株以上の株主様にはパシュミナのショール、3,000株以上の株主様にはショールとカシミア・ブランケットのセットをそれぞれお贈りさせていただき予定しております。



ショール
(1,000株以上の株主様)



オリーブオイル
(100株以上の株主様)

なお、9月末日現在の単元株主様には、当社グループ企業が経営する南紀白浜「ホテル マーキーズ」、「オーベルジュ サウステラス」の宿泊優待割引券を進呈いたします。
(お届けは12月頃を予定)

会社概要

会社概要(平成16年3月31日現在)

商号	株式会社 島精機製作所
英訳名	SHIMA SEIKI MFG., LTD.
本社	和歌山市坂田85番地
創立	昭和37年2月4日
資本金	148億5,980万円
従業員	1,021名
事業内容	コンピュータ横編機 シームレス手袋編機、靴下編機 コンピュータデザインシステム ニットCADシステム アパレルCAD / CAMシステム

役員(平成16年6月29日現在)

役名	氏名	担当または主な職業
代表取締役社長	島 正 博	
常務取締役	田 中 雅 夫	経理部長
取締役	岩 倉 煌 一	経営管理部長
取締役	京 谷 実	生産技術部長
取締役	森 田 敏 明	資材部長
取締役	和 田 隆	製造技術部長
取締役	後 藤 明 史	営業部長兼トータルデザインセンター部長
取締役	島 三 博	グラフィックシステム開発部長
取締役	片 桐 正 二 郎	企画部長
取締役	梅 田 郁 人	輸出部長
取締役	藤 田 紀	総務部長
常勤監査役	大 川 修	
常勤監査役	沖 殿 俊 幸	
監査役	的 場 悠 紀	弁護士

(注) 監査役 的場悠紀は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

事業所(平成16年6月29日現在)

本社	和歌山市坂田85番地
支店	東京支店(東京都中央区) 大阪支店(大阪市北区) 名古屋支店(名古屋市中区) 泉州支店(大阪府泉大津市)

営業所	山形営業所(山形県山形市) 福島営業所(福島県伊達郡保原町) 新潟営業所(新潟県五泉市) 甲府営業所(山梨県中巨摩郡昭和町) 四国営業所(香川県東かがわ市)
海外支店	台北支店(台北市)

株主メモ

決算期	毎年3月31日
配当金受取株主確定日	利益配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	毎年3月31日 その他必要ある場合は、あらかじめ公告して定めます。
公告掲載新聞	日本経済新聞 なお、当社は貸借対照表および損益計算書を当社ホームページ (http://www.shimaseiki.co.jp/irj/irj.html) に掲載しております。
株式事務取扱場所	
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 U F J 信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 U F J 信託銀行株式会社 大阪支店証券代行部 電話 (06) 6229 - 3011 (代表)
同取次所	U F J 信託銀行株式会社全国本支店
株式関係のお手続き用紙のご請求は、次のUFJ信託銀行株式会社の電話およびインターネットでも24時間承っております。	
電話 (フリーダイヤル)	0120-24-4479 (本店証券代行部) 0120-68-4479 (大阪支店証券代行部)
インターネットホームページ	http://www.ufjtrustbank.co.jp/

単元未満株式の買増請求および買取請求のご案内

当社は、平成16年6月30日から「単元未満株式の買増制度」を導入いたします。
単元未満株式（100株未満の株式）をご所有の株主様は、その単元未満株式について、100株になるまでの不足株式数を当社から購入（買増請求）することができるようになります。
また、単元未満株式の買取請求につきましても、従来どおりお取扱いいたしております。
お手続きの詳細につきましては、上記の当社名義書換代理人までお問い合わせください。
なお、保管振替制度をご利用の株主様は、お取引のある証券会社にお問い合わせください。

SHIMA SEIKI

株式会社島精機製作所

和歌山市坂田85番地

URL <http://www.shimaseiki.co.jp/>